

古宇に新しい海の魅力

今年で3年目「海のシンクロ」

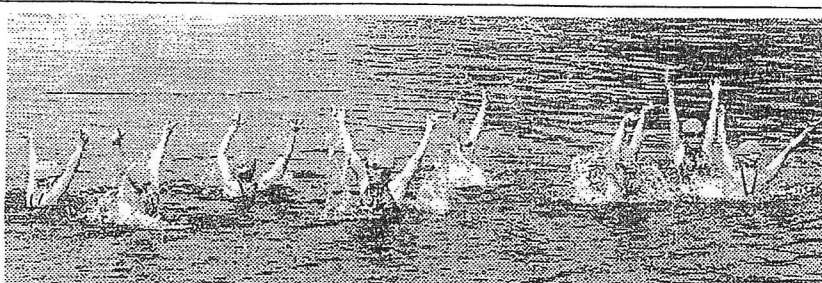
「磯祭り」の開催など地元の資源を生かした地域興しに取り組んできた西浦古宇に新たな海の魅力が加わり、地元では今後の盛り上がり期待している。先月行われた「海のシンクロ」。地元住民、いわゆる「定住人口」の手によって続けられた磯祭りとは違い、こちらは湾内に碇泊するヨットオーナー関係者という、いわゆる「交流人口」による取り組み。人口減少問題にかかわり「交流人口」が一つのキーワードにもなっているだけに、地元資源の活用新しい切り口を提供しそつだ。

磯祭りは文字通り、地元の磯を生かした取り組みとして十五年程にわたって続けられた。魚のつかみ取りやカーレース、地元素材を生かした飲食の提供などで人気を呼び、京浜地方などからの参加者もあったが、企画に必要な資材の準備ができなくなったことなどがあって、中止のやむなきに至っている。

これと入れ替わりのタ イミングで始まったのが海のシンクロ。今年開催で三回目となった。水泳種目の一つとしておなじみのシンクロナイズドスイミングの「海上版」。演じるのは、東京のシンクロ教室に通う生徒有志。看護師や事務職、営業、主婦ら三十代の女性八人が集まり、二〇〇七年三月、チーム名「ミル

ククラウン」(添田ひろ美会長)が誕生した。ミルクを一滴たらすと水滴が飛び散って出来るミルククラウン(ミルクの王冠)。かわいらしく、見た目が人を魅了する現象だが、シンクロ演技の幾つかとイメージが重なったことから名付けたという。

古宇での海の公演は、結成された、その年に始まった。メンバーの一人が同所にヨットを置いており、「駿河湾は水がきれいだし、富士山をバックにシンクロをしてみないか」と話があり、シンクロに必要な水深を確保できることから、それなら、と開催の運びに。



演技に入るミルククラウンメンバー
＝西浦古宇で

さらにヨット仲間が、演技に必要な音響からビデオ撮影、司会まで担当してくれるなど全面的に協力。昨年から地元の古宇浦漁業観光組合(大谷元洋組合長)の支援も得られるようになった。海外での競技にも参加するなど幅広い活動を続ける同チーム。各大会、公演の前には熱心に練習。海の公演も主要イベントの一つに位置付けている。添田会長は、「地元の

ご支援もいただき、公演として充実してきました。たくさん温かい手で支えられていることに感謝しています。来年は、さらに活動の輪を広げ、一回りも二回りも大きくなって古宇に戻ってきたい」としている。また、大谷組合長も「年々このイベントが盛り上がり、この土地の新しい楽しみ方、遊び方を提案してくれるものと期待している。地域興しは、

Culture
Center
SŌ

クラシックバレエ
ヨーガ、押し花
フラダンス、英会話
フラワーアレンジメント
エアロビ、日舞
カラオケ教室他

カルチャーセンター・創
沼津市原町中2-13-26 TEL966-8055

切り絵趣味
の会作品展
切り絵趣味の会作品展